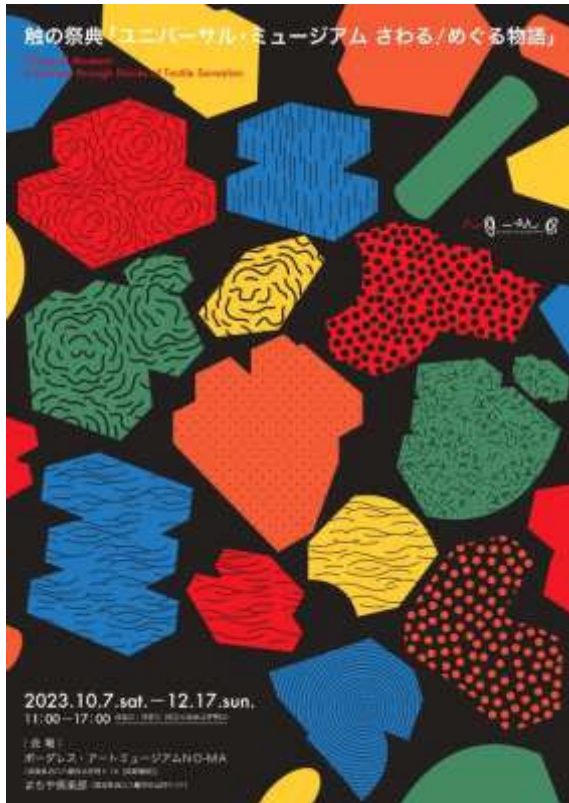


ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

触の祭典

「ユニバーサル・ミュージアム さわる！めぐる物語」

Universal Museum : A Journey through Stories of Tactile Sensation



2021年、大阪の国立民族学博物館で開催された、「ユニバーサル・ミュージアム—さわる！“触”の大博覧会」は、ものとの対話や人と人とのコミュニケーション(触れ合い)など、「さわる」ことの多面的な価値を示す画期的な展覧会でした。そして、この秋、大きな反響を呼んだ「ユニバーサル・ミュージアム」展を、そのコンセプトを引き継ぎ、NO-MAとまちや倶楽部の2つの会場で開催します。

本展の特徴は、彫刻や絵画、歴史資料など、会場内にあるすべての作品をさわって体験することです。「さわる」といってもその方法はさまざま。寝転がったり、覆われたりするなど全身を使うこともあれば、音を振動で感じ取るものもあります。

視覚に拘らない鑑賞を提示する本展は、いわゆる障害者対応・弱者支援という枠を超えて従来の展示の在りようを問い直します。会場に訪れるすべての人たちの「手」で新たな物語を紡ぎ連鎖していく展覧会といえるでしょう。

「さわる」ことから広がる可能性をお楽しみください。

① ちらし画像

展覧会概要

会場 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16)
まちや倶楽部 (滋賀県近江八幡市仲屋町中21)

会期 2023年10月7日(土)~12月17日(日)

開催時間 11:00~17:00

休催日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料 一般600円(550円) 高大生550円(500円) 一館チケット300円

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料

主催 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
社会福祉法人グロー(GLOW)~生きることが光になる~

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力 NPO法人しが盲ろう者友の会

監修 広瀬浩二郎(国立民族学博物館 教授)

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局地域共生部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当: 赤澤・橋本 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: akazawa-yoshiro@glow.or.jp

■展覧会の見どころ、さわりどころ

◆ユニバーサル・ミュージアム（だれもが楽しめる博物館・美術館）

「誰もが楽しめる博物館」を意味する「ユニバーサル・ミュージアム」は単なる障害者対応、弱者支援という枠を超えて、国際的に注目されています。ユニバーサルという視点のもと、多様な「触」（視覚以外の感覚）に出会える本展は、視覚に特化した従来の展示の在りようへの問いかけを含みます。各地の博物館・美術館の最新動向をふまえ、ユニバーサル・ミュージアムの具体像を広く国内外に発信することを通じて、博物館における「合理的配慮」や「ソーシャル・インクルージョン」（社会的包摂）につながる未来をみんなで創造します。

◆触の可能性を探る

本展では、会場内のすべての作品を実際にさわることができます。「風景にさわる」「音にさわる」などのテーマのもと、さまざまな素材や手法によって制作された作品に全身で触れ、「触」の可能性を探ります。来場者がさわることに集中できるように、一部のセクションでは安全性を確保した上で、あえて会場内を暗くしています。「視覚を使えない不自由」ではなく、「視覚を使わない解放感」を体験していただけます。感覚の多様性への気づきは、人間の多様性を尊重する「共活＝ともに活かす」社会の築きにつながるでしょう。

◆イベント、ワークショップの開催

本展監修者、広瀬浩二郎氏によるギャラリートツアーや、本展出展者による創作ワークショップを開催します。また、音声ガイド・日本語字幕付きの映画上映会や「音にさわる演奏会」など、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが楽しめるイベントを実施します。出展作品を鑑賞した盲ろう者と大学生によるワークショップもお楽しみいただけます。

広瀬浩二郎さん(本展監修者)のメッセージ

「生きることが光となる」。ここでいう「光」とは可視光のみではない。人間が肉眼でとらえることができるのは、「光」の一部である。

「さわることによって光がわかる」。僕たちは身体に分布する「触角」（センサー）を駆使して、「光」にアプローチしなければならない。そのためのキーワードが「めぐる」である。物にさわると、全身を駆けめぐり感動が得られる。自らの身体を動かし、手を伸ばせば、他者、そして新たな自己にめぐりあうことができる。展示会場をゆっくりめぐり、思考をめぐらす。ぐるっと体と頭がひとめぐりして、また元の場所（自分）に戻ってくる。原点に立ち返ったあなたは、きっと今まで以上に「光」輝いているだろう。

ボーダレスとは、あちらとこちらを隔てる垣根がないこと。見えるもの・見えないものを包み込む

「光」が、僕たちの身体から放出される。不可視の「光」を補足する想像力・洞察力を磨くために、僕たちはもっと自他の内面（物語）にさわらなければならない。

「Glow Is Growing」。世界中の垣根を取っ払い、万人が「光」を共有するユニバーサル・ミュージアムの挑戦が今、ここから始まる！



■出展

芦屋大学（制作協力）／伊藤喜彦／大塚オーミ陶業株式会社／片山博詞／加藤可奈衛／株式会社三木製作所／北川太郎／桑田知明／島田清徳／高見直宏／戸坂明日香／富長敦也／日本点字図書館（資料提供）／笛吹きボトルプロジェクト／堀江武史／宮本ルリ子／守屋誠太郎／米田文／若林孝典 わらべ館（協力）／渡辺泰幸／わたる（石川智弥＋古屋祥子）



② 米田文「けんこうボール」



③ 富長敦也「Ninguen」制作風景



④ 島田清徳「境界 division - k - 2019」



⑤ 渡辺泰幸「土の音 2015」

（愛知県陶磁美術館 愛知ノート―土・陶・風土・記憶―での展示風景）



関連イベント情報

■ ギャラリートัวร์

講師:広瀬浩二郎(本展監修者/国立民族学博物館 教授)

▶開催日時:10月15日(日) 11:00~12:30、11月18日(土) 15:30~17:00、11月23日(木・祝)
13:30~15:00 ▶場所:NO-MA、まちや倶楽部 ▶参加費:観覧料 ▶定員:各10名程度 要申込

■ 映画上映会『手でふれてみる世界』&アフタートーク

イタリアに暮らす、視覚に障害を持つ夫妻が創設した「オメロ触覚美術館」。その存在、活動に心動かされ、この世界の断片を多くの人に伝えたいと制作された映画『手でふれてみる世界』を上映します。上映後には、岡野晃子監督と本展監修者である広瀬浩二郎氏によるアフタートークを行います。

※本上映会は、音声ガイド・日本語字幕付きのユニバーサル上映でお届けします。

▶アフタートーク登壇者:岡野晃子(映画監督)、広瀬浩二郎 ▶日時:11月18日(土)13:30~14:30 映画上映、14:30~15:00 アフタートーク ▶場所:酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) ▶参加費:無料
▶定員:40名 要申込

■ NPO法人しが盲ろう者友の会と学生によるワークショップ

盲ろうの人と大学生が一緒に対話しながら美術鑑賞する鑑賞会を行いました。その体験をもとに、作品鑑賞を楽しむワークショップを行います。

▶講師:岡田昌也、岡本克司、緒方里奈、松本栞、山本桜 ▶日時:11月 ▶場所:未定(近江八幡市内)
▶参加費:観覧料 ▶定員:10名程度 要申込

■ 音にさわる演奏会

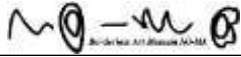
本展の出展者、渡辺泰幸氏の作品を打楽器奏者・即興演奏家である永田砂知子氏が演奏するコラボレーション企画です。演奏会後には来場者が参加できるワークショップを実施します。

▶出演:永田砂知子(打楽器奏者) ▶解説:渡辺泰幸(造形作家) ▶日時:11月4日(土)14:00~16:00
▶場所:酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) ▶参加費:無料 ▶定員:30名 要申込

■ Love Stone Project—NO-MA

本展の出展者、富長敦也氏と一緒にその土地の石を磨き、参加者とともに作品を作り上げるプロジェクトを実施します。10月、11月に酒游館で開催されるスワイバザールに出店。11月4日に開催する「音にさわる演奏会」でも同時開催します。誰もが自由に参加できるワークショップです。

▶講師:富長敦也(彫刻家) ▶日時:10月15日(日)・11月4日(土)・11月19日(日)すべて10:00~15:00
▶場所:酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) ▶参加費:無料



■ 自分だけの鈴をつくろう

本展の出展者、渡辺泰幸氏の作品である土鈴に参加者が自由に絵を描いたり、装飾ができるワークショップです。10月、11月に酒游館で開催されるスワイバザールに出店。11月4日に開催する「音にさわる演奏会」でも同時開催します。

▶日時:10月15日(日)・11月4日(土)・11月19日(日)すべて10:00~15:00 ▶場所:酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) ▶参加費:500円 ▶定員:先着20名(各回)

NO-MAにお越しになる方への情報

■ 障害などを理由に、NO-MAに行くか迷っている方へ

「さわって楽しめるものはある?」「これが苦手なんだけど大丈夫?」「静かにしなくてもいい?」など、あなたやあなたの周りの方が気になっていることや、必要なサポートを教えてください。合理的配慮の観点から、できる限りの情報提供やスタッフによる対応を行います。なお、さわって楽しむことを目的とした本展では、見えにくい方や聞こえにくい方、字を読むのが苦手な方に向けての「情報保障」も用意しています。



詳しくはQRコード
からご確認ください



広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人事務局地域共生部
 (ボードレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
 FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。
 なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- (1) キャプションは、作家名、作品名を必ず表記ください。
- (2) 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- (3) 本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

媒体名：『 _____ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
 ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日：

御社名： _____ ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____ @ _____
 (〒 _____)

ご住所： _____

お電話番号： _____ FAX： _____

<input type="checkbox"/>	① ちらし画像
<input type="checkbox"/>	② 米田文《けんこうボール》
<input type="checkbox"/>	③ 富長敦也《Ninguen》制作風景
<input type="checkbox"/>	④ 島田清徳《境界 division - k - 2019》
<input type="checkbox"/>	⑤ 渡辺泰幸《土の音 2015》 (愛知県陶磁美術館 愛知ノート—土・陶・風土・記憶—での展示風景)

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局地域共生部 (ボードレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：赤澤・橋本 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : akazawa-yoshiro@glow.or.jp